

ADR-ML15BK ADR-ML15W



USB2.0 カードリーダー

USB2.0 Card Reader

最初に確認してください。

- USB2.0カードリーダー (ADR-ML15BK・W) …… 1台
- 取扱説明書 …… 1冊

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト (<https://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 ●はじめに
- 2 ●動作環境
- 3 ●安全にお使いいただくためのご注意 (必ずお守りください)
- 4 ●警告・注意・お手入れについて
- 5 ●取扱い上のご注意
- 6 ●特長
- 6 ●各部名称と働き
- 7 ■Windows
- 7 ●Windows 7・Vistaへのインストール
- 8 ●Windows XP・2000 (SP3以降)へのインストール
- 9 ●各種メディアの挿入・取出し
- 10 ●各種メディアの使い方
- 11 ●本製品の取外し
- 12 ●Apple Macシリーズ
- 13 ●Mac OS X 10.1.2～10.7へのインストール
- 13 ●メディアの挿入・取出し
- 14 ●本製品の取外し
- 15 ●仕様
- 16 ●保証規定・保証書
- 17 ●よくある質問

1.はじめに

この度はUSB2.0カードリーダーADR-ML15シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

2.動作環境

- 対応機種：各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、Apple Macシリーズ、PlayStation®3
- 対応OS：Windows 7 (32bit・64bit)・Vista (32bit・64bit)・XP・2000 (SP3以降)、Mac OS X 10.1.2～10.7
- ※USBポートを装備し、1つ以上の空きがあること。
- ※USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応のホストアダプタかUSB2.0対応のポートを搭載した機器でなくてはなりません。
- ※Mac OSでは、USB2.0対応のホストアダプタかUSB2.0対応のポートを搭載し、OS10.2.7以降をインストールした機器が必要です。
- ※上記以外の環境では、USB1.1で動作します。
- ※USB2.0非搭載機ではデータ転送速度は低下します。

3.安全にお使いいただくためのご注意 (必ずお守りください)

- 警告
 - 下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。
 - 分解、改造はしないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
 - 保証の対象外になります。
 - 水などの液体に濡らさないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
 - 小さな子供のそばでは本製品の取外しなどの作業をしないでください。(飲み込んだりする危険性があります)
- 注意
 - 下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。
 - 取付け取外しの時は慎重に作業をおこなってください。(機器の故障の原因となります)
 - 次のようなところで使用しないでください。
 - ①直接日光の当たる場所
 - ②湿気や水分のある場所
 - ③傾斜のある不安定な場所
 - ④静電気の発生するところ
 - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
 - 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- ①清掃する時は電源を必ずお切りください。
- ②機器は柔らかい布で拭いてください。
- ③シンナー、ベンジン・ワックス等は使わないでください。

4.取扱い上のご注意

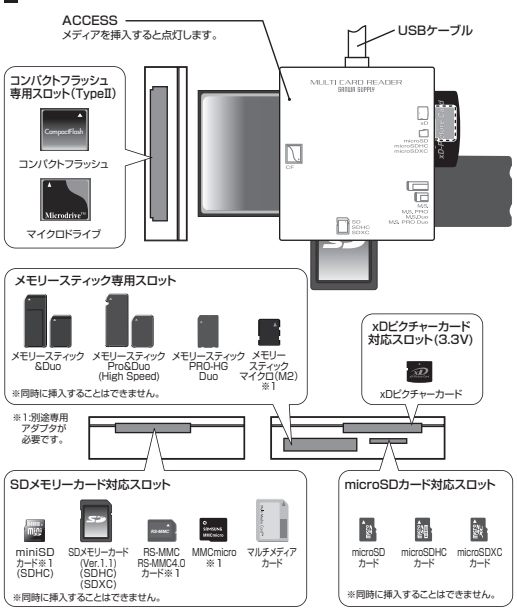
- 本製品の取付け、取外しをする時には必ずパソコン内(ハードディスク等)のデータをすべてバックアップ(MO、FD等)をしてください。
- メディア内のデータは、必ず他のメディア(MO、FD等)すべてバックアップしてください。
 - ※特に修復・再現のできない重要なデータは必ずバックアップしてください。
 - ※バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5.特長

- ケーブルを裏面に固定でき、持ち運びに便利です。
- 多くの携帯電話に採用されているmicroSDなど小型メディアがそのまま使えます。
- アクセスが分かるLED付き。
- SDXCメモリーカード、microSDXCカード64GB対応。
 - ※UHS-IIには対応していません。
- WindowsでもMacでも使用できます。PlayStation®3などのゲーム機にも対応。
- デジタルカメラ等の画像をパソコンに転送できます。
- microSD・microSDHC・microSDXCが直接読み書きできます。
- USB2.0/1.1に対応しています。
- ※USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応のホストアダプタかUSB2.0対応のポートを搭載した機器でなくてはなりません。
- ※Mac OSでは、USB2.0対応のホストアダプタかUSB2.0対応のポートを搭載し、OS10.2.7以降をインストールした機器が必要です。
- ※上記以外の環境では、USB1.1で動作します。
- ※USB2.0非搭載機ではデータ転送速度は低下します。

△ SDXC・microSDメモリーカード使用上のご注意
SDXC・microSDメモリーカードには対応のOSがありますので、下記対応のOSを確認の上ご使用ください。
対応OS:Windows 7・Vista (SP1以降)・XP (SP2・SP3以降)※1
※1:Windows XPで使用する場合はマイクロソフト株式会社が提供している更新プログラム(KB955704)をインストールする必要があります。(詳しくはSDXCの取扱説明書をご覧ください)
※メディアのフォーマットは必ず、使用機器で行ってください。

6.各部名称と働き



7.Windows 7・Vistaへのインストール

本製品は、ドライバをインストールする必要がありません。接続するだけで簡単に使えます。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを起動させます。
 - ②パソコンのUSBポートに本製品のUSBコネクタを接続します。
- △ パソコンのUSBポートはメーカーによってコネクタの向きが違います。よく確認して接続してください。
- △ デバイスを使用する準備ができました。デバイスドライバソフトウェアを自動的にインストールする必要があります。

③USBコネクタを接続後、自動的にインストールが行われます。タスクトレイにインストール完了のメッセージが表示され、これでインストールは完了です。

正しくセットアップできたか確認する

デスクトップにある「コンピュータ」をクリックして「リムーバブルディスク」のアイコンが追加されていることを確認します。

- △ Windows 7では「コンピュータ」です。
- △ Windows 7は、メディアを挿入していない状態ではアイコンは表示されません。

リムーバブルディスクのドライブ番号について

Windowsパソコンではリムーバブルディスクのドライブ番号は順番に割当てられます。

パソコン内のドライブが全て終わっている場合表示されるリムーバブルディスクアイコン

- リムーバブルディスク (F)
- コンパクトフラッシュ (TypeII) 専用スロット
- リムーバブルディスク (G)
- xDピクチャーカード対応スロット
- リムーバブルディスク (H)
- メモリースティック専用スロット
- リムーバブルディスク (I)
- SDメモリーカード対応スロット

8.Windows XP・2000 (SP3以降)へのインストール

本製品は、ドライバをインストールする必要がありません。接続するだけで簡単に使えます。※Windows 98・98SEには対応していません。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを起動させます。
- ②パソコンのUSBポートに「ケーブル」を△図のコネクタ側に接続します。

△ パソコンのUSBポートはメーカーによってコネクタの向きが違います。よく確認して接続してください。

8.Windows XP・2000 (SP3以降)へのインストール (続き)

Windows XPをご使用のお客様

ご使用のパソコンがUSB2.0に対応していない場合やサービスパック1以前の場合「高速ではないUSB/HPIに接続している高速USBデバイス」のメッセージがタスクトレイに表示されます。サービスパックの場合「さらに高速で実行できるデバイス」のメッセージがタスクトレイに表示されます。これは本製品がUSB2.0に対応している機器ですが、接続したUSBポートがUSB2.0に対応していないため表示されるメッセージです。この場合USB2.0ではなくUSB1.1のスピードで動作します。

- ③USBコネクタを接続すると、自動的にインストールが行われます。タスクトレイにインストール完了のメッセージが表示され、これでインストールは完了です。

正しくセットアップできたか確認する

デスクトップにある「マイコンピュータ」をダブルクリックして、「リムーバブルディスク」のアイコンが追加されていることを確認します。

※XPの場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」の場合があります。

リムーバブルディスクのドライブ番号について

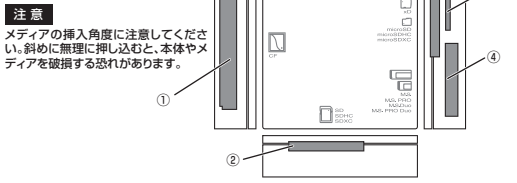
Windowsパソコンではリムーバブルディスクのドライブ番号は順番に割当てられます。

パソコン内のドライブが全て終わっている場合表示されるリムーバブルディスクアイコン

- リムーバブルディスク (F)
- コンパクトフラッシュ (TypeII) 専用スロット
- リムーバブルディスク (G)
- xDピクチャーカード対応スロット
- リムーバブルディスク (H)
- メモリースティック専用スロット
- リムーバブルディスク (I)
- SDメモリーカード対応スロット

9.各種メディアの挿入・取出し

メディアの挿入
メディアの挿入は、裏表を確認し、スロットに水平に挿入してください。



①コンパクトフラッシュ・マイクロドライブの場合

コンパクトフラッシュ・マイクロドライブ・CF型HDDなど

ラベル面を下にして挿入します。

②SDXCメモリーカード・SDHCメモリーカード・SDメモリーカード・Wii用SDメモリーカード・miniSDHCカード・miniSDカード・マルチメディアカード・MMC Plus/MMC micro-RS-MMCカード・RS-MMC 4.0の場合

SDXCメモリーカード・SDHCメモリーカード・SDメモリーカードなど

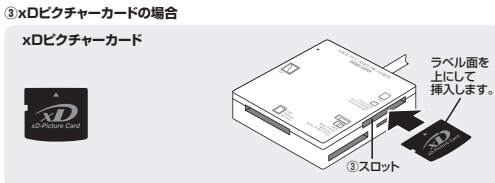
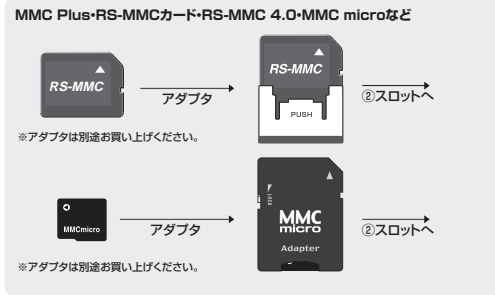
ラベル面を上にして挿入します。

miniSDHCカード・miniSDカードなど

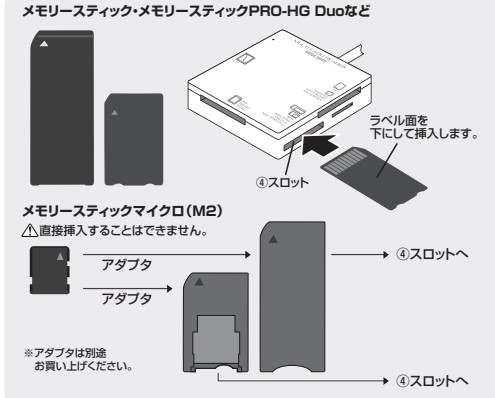
△ 直接挿入することはできません。

アダプタ → ②スロットへ

②SDXCメモリーカード・SDHCメモリーカード.....RS-MMC 4.0の場合の続き



④メモリースティック・メモリースティック Duo (PRO・High Speedを含む)・メモリースティックマイクロ (M2)の場合



⑤microSDXCカード・microSDHCカード・microSDカード・T-Flashの場合



- メディアの取出し**
- パソコンの電源が切れている場合

パソコンの電源が切れている場合は、そのままメディアを取出してください。
 - パソコンの電源が入っている場合
 - Windows 7・Vistaの場合
 - ①本製品に挿入されているメディア内のデータを使用しているアプリケーションをすべて終了します。
 - ②「スタート」→「コンピュータ」をクリックします。
 - ▲Windows 7では「コンピューター」です。
 - ③「リムーバブルディスク」を右クリックして、表示されたメニューから「取り出し」をクリックします。
 - ④メディアをスロットから取出します。

- Windows XP・2000 (SP3以降)の場合
 - ①本製品に挿入されているメディア内のデータを使用しているアプリケーションをすべて終了します。
 - ②「スタート」→「マイコンピュータ」をクリックします。
 - ③「リムーバブルディスク」を右クリックして、表示されたメニューから「取り出し」をクリックします。
 - ④メディアをスロットから取出します。
- 注意

アクセス中に、本製品からメディアを取出すと、データが破壊されたり、消失する恐れがあります。

10.各種メディアの使い方

- デジカメで撮影した画像を見る
 - ①カードリーダーにメディアを挿入します。
 - ②マイコンピュータの中にあるリムーバブルディスクのアイコンをクリックします。
- ▲Windows 7では「コンピューター」、Windows Vistaでは「コンピュータ」です。
- ③リムーバブルディスクの中に「DCIM」というフォルダがんでいます。これは「デジカメで撮影された画像が入っているフォルダ」として、どのデジカメでも共通です。
- ▲一枚のメディアをフォーマットせず、色々なデジカメで使用するに「DCIM」フォルダの中にメーカー別のフォルダが作成されます。
- ④「DCIM」フォルダをクリックすると、メーカー特有のフォルダができます。
- ▲フォルダはメーカー機種によって異なります。

⑤このフォルダの中に画像は入っています。パソコンに保存する場合はドラッグして希望のフォルダに移動してください。

- 注意
 - ・あくまでも一般的な使用方法であり、OS・デジカメメーカーによって異なる場合があります。
 - ・携帯電話で撮影した画像は各携帯電話メーカーによって異なります。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
 - ・動画を再生する場合は、対応のコーデックが必要です。お持ちのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

11.本製品の取外し

- 注意

本製品を取外す時には、本製品にアクセスしているアプリケーションをすべて終了してください。ファイルのコピー中など、アクセス中に本製品を取外すと、データが壊れたり、消失する恐れがあります。
- Windows 7・Vistaの場合
 - ①タスクバーにある「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
 - ▲Windows 7でタスクバーにアイコンが表示されない場合はそのまま取外してください。
- 注意

アイコンが表示されない場合はWindowsのヘルプを参照してください。
- ②「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されますので「USB大容量記憶装置」を選択し、「停止」をクリックします。
- ③「ハードウェアデバイスの停止」が表示されるので「OK」をクリックします。
- ④「ハードウェアの取り外し」が表示されていることを確認して「OK」をクリックして本製品をパソコンから取り外します。
- ※画像は、使用機器・OSによって若干異なります。
- Windows XP・2000 (SP3以降)の場合
 - ①タスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックします。
 - ▲ダブルクリック
- 注意

アイコンが表示されない場合はWindowsのヘルプを参照してください。
- ②「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されますので、「USB大容量記憶装置デバイス」を選択し、「停止」をクリックします。
- ③「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。
- ④「ハードウェアの取り外し」の吹き出しが表示されていることを確認して、USBケーブルをパソコンから取り外します。
- ※画像は、使用機器・OSによって若干異なります。

- ※本製品は、ドライバをインストールする必要がありません。
- ①パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動させます。
- ②パソコンのUSBポートに、本製品のケーブルを接続します。
- 注意

USB/H/Pを経由してパソコンに接続する場合は、必ずセルフブートモードで使用し、USBポートに電源が供給できる状態にしてください。

ACアダプタで電源供給できないUSBハブは使用できません。

▲パソコンのUSBポートはメーカーによってコネクタの向きが異なります。よく確認して接続してください。
- ③これでインストールは完了です。 ※メディアを挿入しないとアイコンは表示されません。
- ④正しくセットアップできたか確認する

13.メディアの挿入・取出し

- メディアの挿入

メディアの挿入は、裏表を確認し、スロットに水平に挿入してください。

- 注意

メディアの挿入角度に注意してください。斜めに無理に押し込むと、本体やメディアを破損する恐れがあります。
- メディアの取出し
 - ▲パソコンの電源が切れている場合
 - ▲パソコンの電源が入っている場合
- ▲一枚のメディアをフォーマットせず、色々なデジカメで使用するに「DCIM」フォルダの中にメーカー別のフォルダが作成されます。
- ④「DCIM」フォルダをクリックすると、メーカー特有のフォルダができます。
- ▲フォルダはメーカー機種によって異なります。

14.本製品の取外し

- メディアの取出し作業の終了後、本製品にメディアが入っていないことを確認してから、パソコンのUSBポートから本製品のUSBケーブルを抜き取ります。
- 注意

本製品を取外す時は、本製品にアクセスしているアプリケーションをすべて終了させてください。ファイルのコピー中など、アクセス中に本製品を取外すと、データが壊れたり消失する恐れがあります。
- 15.仕様

インターフェース	USB Ver.2.0準拠(USB Ver.1.1上位互換)
スロット	xDVICKYカード対応スロット(3.3V)×1、メモリースティック専用スロット×1、SDメモリーカード対応スロット×1、microSDカードスロット×1、コンパクトフラッシュ(TypeII)スロット×1
ケーブル長	約70mm(±10mm)
サイズ・重量	W51×D56.7×H13.5mm(ケーブル除く)・約30g
消費電流	動作時 500mA(MAX) スタンバイ時 30mA(MAX)
環境条件	動作時 温度 0℃~40℃、湿度 0%~80%
(結露なきこと)	保管時 温度 0℃~45℃、湿度 0%~90%
- 16.保証規定・保証書
 - 保証期間中に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
 - 万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書の本製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
 - 2次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。(1)保証書をご提示いただけない場合。(2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えた場合。(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。(4)故障の原因がお客様による転送・移動中の衝撃による場合。(5)天災地災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
 - 本製品の取壊、またはその使用によって生じた損害、同様の損害については弊社はその責任を負いません。
 - 本製品を使用中またはデータプログラムの消滅、または破壊については保証いたしかねます。
 - 本製品は医療機器、原子力施設や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておられません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
 - 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様ののご負担となります。
 - 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - 保証書は日本国内においてのみ有効です。

- ▲カードリーダーを使用する場合に発生する現象ごとに、その原因・対策方法について説明しますので、これに沿って、トラブルを解決してください。
- ① ▲マイコンピュータの中に「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されない。
 - 原因 …… 本製品が接続されていません。
 - 対策 …… 一度、USBポートから本製品を抜き、接続し直してください。
 - それでも同じ現象が出る場合は、別のUSBポートに接続してください。
- ② ▲「リムーバブルディスク」のアイコンをクリックすると、「ドライブにディスクを挿入してください」などの表示が出る。
 - 原因(1) …… メディアが正しくセットされていません。
 - 対策 …… メディアの向きを確認して、再びスムーズに挿入してください。
 - 原因(2) …… メディアがフォーマットされていません。
 - 対策 …… フォーマットをしてください。
- 注意

デジタルカメラ、携帯電話でもご使用になる場合は、必ず、デジタルカメラ、携帯電話側でフォーマットしてください。(パソコン側でフォーマットした場合、デジタルカメラ・携帯電話側で認識しない場合があります。尚、Windows上でフォーマットしたメディアは、Mac OSでも読むことはできますが、Mac OS上でフォーマットしたメディアは、Windowsで読むことはできませんので、ご注意ください。

Windows上でフォーマットしたメディア → ○ Windows / ○ Mac OS

Mac OS上でフォーマットしたメディア → X Windows / ○ Mac OS
- ③ ▲デスクトップ上にカードリーダーのアイコンが表示されない。(Macの場合)
 - 原因(1) …… メディアの入れ方選ぎます。
 - 対策 …… 一度、メディアを抜いて、再び、素早く挿入してみてください。
 - 原因(2) …… デスクトップ上にアイコンが表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
 - 対策 …… しばらくお待ちください。
- ④ ▲携帯電話でダウンロードした音楽がパソコンにうつせない。

原因 …… 本製品は著作権保護機能には対応していません。
- ⑤ ▲カードリーダーを取外すことができない。取外しの操作をすると「USB大容量記憶装置デバイスの取り外し中にエラーが発生しました」というメッセージが出る。
 - 原因 …… カードリーダーに挿入されているメディアが使用中です。
 - 対策 …… すべてのアプリケーションを終了してください。
 - 終了後も一度取外しを行ってください。
- ⑥ ▲携帯電話で録画した動画フィルムをパソコンで再生できない。
 - 原因 …… 携帯電話で録画した動画ファイルはパソコンで再生するには拡張子に対応した再生ソフトやコーデックが必要になる場合があります。
 - 対策 …… 携帯電話のメーカーに問い合わせください。

最新の情報はWEBサイトで!! <https://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問 (Q&A)
- 各種対応表
- 最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼サポートページへ

ご質問、ご不明な点などが
ありましたら、ぜひ一度
弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社 ver.1.0

岡山サプラセンター 〒700-0825 岡山県岡山市北区田前 1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-6123
東京サプラセンター 〒140-8566 東京都品川区南大井 6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 7060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 (バストラルビル) N8 TEL.011-611-3450 FAX.011-718-8990
仙台営業所 7983-0822 仙台市宮城野区権町 1-6-37 TMMビル TEL.022-257-4838 FAX.022-257-4833
名古屋営業所 7453-0015 名古屋市中村区権町 1-6-7 カジヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 7539-0003 大阪市東淀川区東木田 4-5-36 セントラル新大阪ビル TEL.06-8338-5310 FAX.06-8338-5315
福岡営業所 7812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八吉ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078